

近畿大学建築学部・賛八会共催 「建築学部設計コンペティション」活動報告

担当 第2事業部会

学生支援事業として、2014年より年1回近畿大学建築学部と賛八会の共催により「建築学部設計コンペティション」を行っています。(近畿大学建築学部または、大学院総合理工学研究所の在籍者対象)

2014年度 第1回課題 「Asia International Holl」 事務局担当 松本 明教授

アジアの学生がお互いに新しい関係を築き、賑わいと交流を生み出す場所をデザイン。

応募作品：14作品

最優秀賞：1作品、賛八会賞：1作品、優秀賞：2作品、佳作：2作品

2015年度 第2回課題 「間伐材の茶室」 事務局担当 垣田 博之准教授

茶室を、実際にお茶を点てる場ではなく、対話のための最小空間と考え、間伐材を利用した茶室空間の設計。

応募作品：13作品

最優秀賞：1作品、賛八会賞：1作品優秀賞：5作品、佳作：11作品

2016年度 第3回課題 「再生段ボールの茶室」 事務局担当 垣田 博之准教授

茶室を、実際にお茶を点てる場ではなく、対話のための最小空間と考え、再生段ボールを利用した茶室空間の設計。

応募作品：49作品

最優秀賞：1作品、賛八会賞：1作品優秀賞：4作品、佳作：13作品

2017年度 第4回課題 「竹の茶室」 事務局担当 垣田 博之准教授

茶室を、実際にお茶を点てる場ではなく、対話のための最小空間と考え、竹の可能性を生かした茶室空間の設計。

応募作品：37作品

最優秀賞：1作品、賛八会賞：1作品、優秀賞：4作品、佳作：7作品

2018年度 第5回課題 「紙管の茶室」 事務局担当 垣田 博之准教授

茶室を、実際にお茶を点てる場ではなく、対話のための最小空間と考え、紙管の可能性を生かした茶室空間の設計。

応募作品：10作品

最優秀賞：1作品、賛八会賞：1作品、優秀賞：2作品、佳作：5作品

2019年度 第6回課題 「葡萄蔓の茶室」 事務局担当 垣田 博之准教授

茶室を、実際にお茶を点てる場ではなく、対話のための最小空間と考え、籠などの材料として使用されてきた真っ直ぐでない素材を使った茶室空間の設計。

応募作品：14作品

最優秀賞：1作品、賛八会賞：1作品、優秀賞：3作品、佳作：1作品

2020年度 コロナウイルスのパンデミックにより中止

2021年度 第7回課題 「ペットボトルの茶室」 事務局担当 垣田 博之准教授

茶室を、実際にお茶を点てる場ではなく、対話のための最小空間と考え、籠などの材料として使用されてきた真っ直ぐでない素材を使った茶室空間の設計。

応募作品：10作品

最優秀賞：1作品、賛八会賞：1作品、優秀賞：4作品、佳作：3作品

2022年度 第8回課題 「竹箒の茶室」 事務局担当 垣田 博之准教授

茶室を、実際にお茶を点てる場ではなく、対話のための最小空間と考え、柄と

応募作品：14作品

最優秀賞：1作品、賛八会賞：1作品、優秀賞：1作品、佳作：4作品

第2回より第8回までの作品をまとめた小冊子が垣田 博之准教授のご尽力により建築資料研究社より発刊される運びとなりました。

冊子名は「素材との対話」 セルフビルの茶室から描く24の補助線
アマゾンより購入できますので、皆様よろしく願いいたします。